

### 3 今回の調査について

#### 【調査区の位置】

- ・赤松広秀供養塔西側
- ・平成 19 年度発掘調査で見つかった石垣の延長線上

#### 【おもな遺構】

- ・石垣・石垣よりも古い時期の流路

#### 【おもな出土遺物】

- ・染付磁器・施釉陶器・土師器小皿ほか

### 4 わかったこと

#### 【石垣の構築】

- ①石垣の下部には、土砂災害による流入土がある。
- ②①の流入土よりも下層で検出した流路から 16 世紀後半代 ~ 17 世紀前半期に使用された土師器小皿が出土した。
- ③平成 19 年度の調査で発見した石垣との関連性が現状では認められない。
- ④石の積み上げ方が、基本的な方法とは異なっている。

#### 【石垣の構築時期】

少なくとも今回の調査地区内に含まれる石垣は、赤松氏時代のものとはいえない。

#### 【石垣を積み直した時期】

裏込部分に、明確に後世の所産といえる遺物が混入していないため、現時点では「廃城後間もない江戸期」と考えられる。

#### 【石垣を積んだのは】

専門の集団ではない。積み方自体、応急処置的な様相を呈している。

### 5 今後について

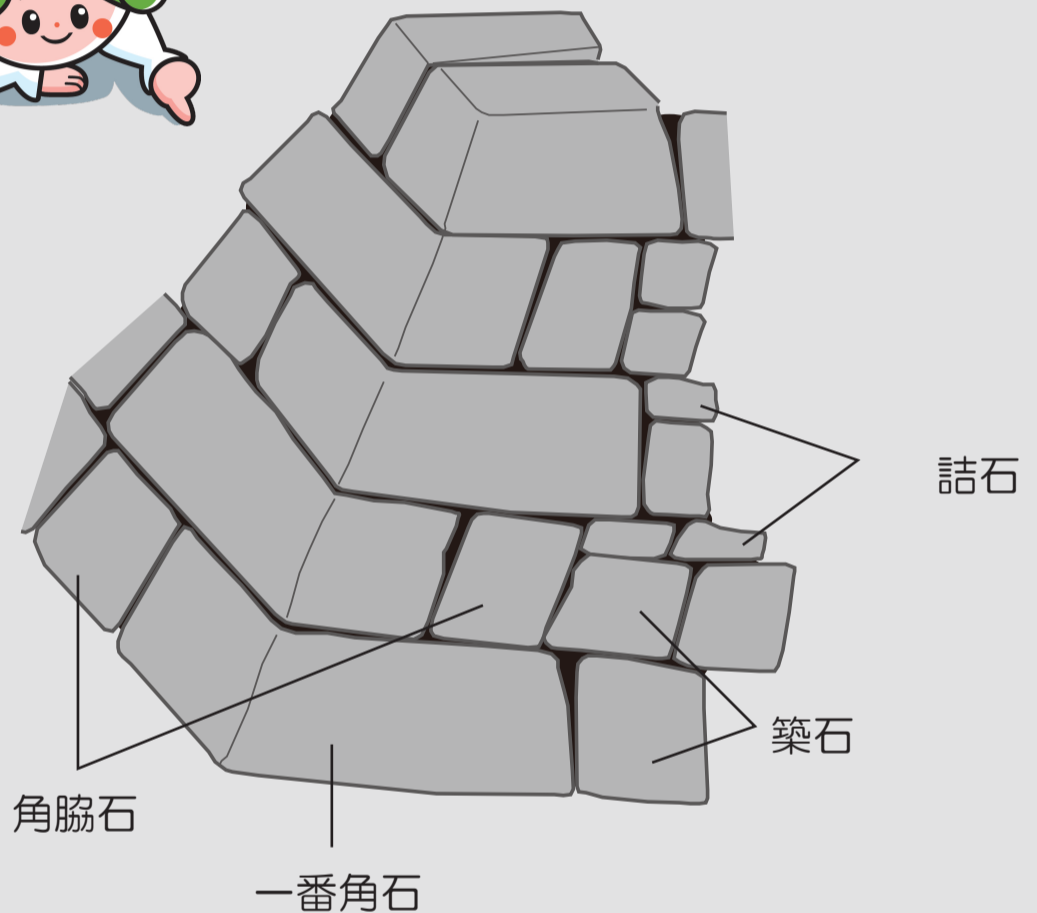
今回の発掘調査箇所内の石垣は、古式穴太積みではないことが分かりました。しかし、これもまた竹田城が歩んできた道であり、城を大切にしてきた地元の人々の歴史でもあります。この事実を後世に伝えるため、今後は、この遺存石垣を適切に保存しつつ、台風の被害に遭った箇所を中心に保存・修復を図ります。



写真 1：石垣の北側立面



上の写真と比較してみよう！



第 2 図：算木積みの模式図



写真 2：裏込のようす（西より）